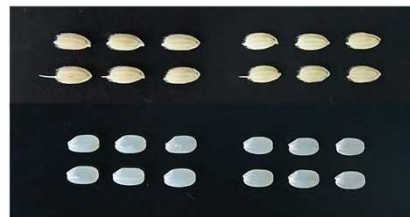
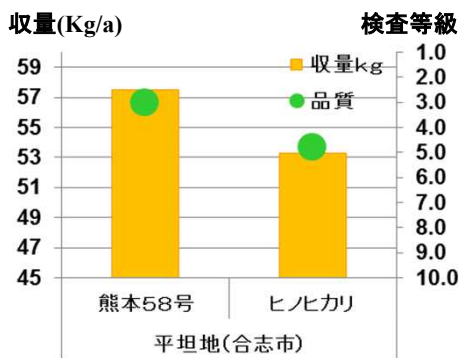


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2016

県育成の極良食味水稻「熊本58号」の特性



熊本58号 ヒノヒカリ



熊本58号 ヒノヒカリ

問 研究のねらいは？

答 県では「ヒノヒカリ」など食味ランキングで特A評価を得ている一方で、各都道府県オリジナル品種によるブランド化など全国的な産地間競争が激化しています。

そこで、県産米を新たにリードする県オリジナルの極良食味品種を開発しました。

問 優れている点は？

- 答
- ① 「ヒノヒカリ」より草丈が低く、倒伏しにくいです。
 - ② 「ヒノヒカリ」より穂数が多く、収量性が高いです。また、品質も優れます。
 - ③ 炊き上がりのお米は、口当たりが良く、「粘り」があり、食味に優れています。

問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- ① 山麓準平坦地域を中心に作付を推進します。
 - ② 熊本県推奨うまい米基準を目指した良食味生産を図るため、極端な多肥を避けて下さい。
 - ③ いもち病に対する抵抗性が不十分であるため、「ヒノヒカリ」等に準ずる薬剤防除に留意して下さい。